

社会学部創設50周年記念事業について

以下は、関西大学社会学部創設50周年記念事業として2017年度中に実施した事業の一覧である。同様のまとめは『関西大学年史紀要』第25号にもすでに掲載済みであるが、若干の情報を訂正あるいは補足する必要がある、この『社会学部紀要』にあらためて掲載する。

■社会学部創設50周年記念事業一覧

2017年

4月1日(土)～2018年3月24日(土)

社会学部創設50周年記念 年史編纂室年史資料展示室企画展「人と社会をみつめて——関西大学社会学部50年のあゆみ——」会場：簡文館・年史資料室展示室

4月11日(火)

社会学部創設50周年記念 社会学部企画展示「社会調査のいまむかし」／パネル展「村野藤吾の第3学舎」(村野藤吾事務所の設計図・多比良敏雄の建築写真など) 会場：第3学舎2階ギャラリーゾーン

第3学舎リノベーション工事の際に設置されたA棟・D棟の展示パネル吊下げ用レールや照明など既設のものにくわえ、展示用の機材を補充した。また、博物館の展示ケースの移管を受ける。

5月19日(金)

社会学部創設50周年記念 学術講演会(心理学専攻)「ファシズム、テロリズム、そしてマインドコントロールの社会心理学」講師：西田公昭(立正大学心理学部教授) 会場：第3学舎A202教室

5月26日(金)

社会学部創設50周年記念 学術講演会(メディア専攻)「浪曲でRock you～グローバルな時代にこそ伝統芸能を～」講師：春野恵子(浪曲師) 会場：第3学舎ソシオAV大ホール

6月6日(火)

社会学部創設50周年記念 学術講演会 (メディア専攻) 「〈インターネット〉の次に来るもの メディアの預言者ケヴィン・ケリーと考える21世紀のメディア」 講師: 服部桂 (元朝日新聞科学部記者・関西大学客員教授) 会場: 第3学舎ソシオ AV 大ホール

7月1日(土)~2日(日)

社会学部創設50周年記念 国際シンポジウム (メディア専攻) 「Are You Second Offline? — The Diversity of Post-Mobile Society —」 基調講演: J. E. カッツ (アメリカ Boston University 教授) / パネリスト: L. ヒョース (オーストラリア RMIT University 特別教授)・M. ビョルン (スウェーデン Ericsson inc. 消費者研究所研究室長 / Lund University 連携教授)・J. ファーマン (アメリカ University of Maryland 准教授) 会場: 関西大学梅田キャンパス KANDAI Me RISE 主催: 関西大学社会学部メディア専攻・公益財団法人情報通信学会

9月30日(土)

『関西大学社会学部50年史』刊行 / 上製本200部については、学内各部署をはじめ『社会学部紀要』の送付先にも寄贈 (10月10日~12日)。その後、大学図書館・公共図書館などからの要望に応じて寄贈。別に、並装の普及版200部を作成し、関大パンセをとおして卒業生・ご父母に頒布した。

10月11日(水)

社会学部企画展示の一部資料を入れ替え、「テキストのうつりかわり」として展覧開始 会場: 第3学舎2階ギャラリーゾーン

社会学部同窓会寄贈による展示パネルを追加で設置。

10月21日(土)

社会学部創設50周年記念 パネルディスカッション (メディア専攻) パネリスト: 山本晋也 (朝日放送常務取締役)・谷口泰規 (関西テレビ放送常務取締役)・北浜義信 (テレビ大阪執行役員)・藤沢雅実 (毎日放送 MBS メディアホールディングス取締役)・吉田満 (讀賣テレビ放送取締役) / コーディネーター: 黒田勇 (社会学部教授・メディア専攻) 会場: 関西大学梅田キャンパス KANDAI Me RISE

10月28日(土)

関西大学社会学部創設50周年 記念式典・祝賀会 会場：(記念式典) 第3学舎ソシオAV大ホール／(祝賀会) 凜風館2階「ディノア」 当日のスケジュール等については本稿の末尾に記載。

11月13日(月)

社会学部創設50周年記念 学術講演会(社会システムデザイン専攻)「新薬づくりの人間ドラマ」 講師：豊田繁(大阪医薬品協会国際連携アドバイザー) 会場：BIGホール100(第2学舎4号館)

11月30日(木)

社会学部創設50周年記念 学術講演会(社会学専攻)「国連『持続可能な開発目標(SDGs) — No One Left Behind —』と国内政策～データに基づいた福祉政策づくり～」 講師：勝又幸子(一般社団法人ヒューネットアカデミー代表理事、元国立社会保障・人口問題研究所情報調査分析部長) 会場：第3学舎A301教室

12月2日(土)～3日(日)

社会学部創設50周年記念 シンポジウム／日本ポピュラー音楽学会第29回大会(メディア専攻)「音楽映像をどう捉えるか——1970年代以降のポピュラー音楽史のために——」 パネリスト：住友利行(元テレビ神奈川プロデューサー)・稲増龍夫(法政大学)・輪島裕介(大阪大学)／司会：小川博司(社会学部教授・メディア専攻) 会場：第3学舎A301教室

12月5日(火)

社会学部創設50周年 記念式典・祝賀会記録動画収録ディスク作成 広報課・年史編集室・社会学部長室で保管

12月19日(火)

社会学部創設50周年記念 学術講演会(メディア専攻)「原発とメディア～テレビは何をどう伝えてきたのか～」 講師：市村元(「地方の時代」映像祭プロデューサー) 会場：第3学舎A301教室

2018年

3月31日(土)～9月30日(日)

年史編纂室の企画展「人と社会をみつめて」の資料・パネル・建築模型などを第3学舎に移設、一部を展示。ギャラリーは今後とも教育・研究成果の発信の場として活用される。

[2017年10月28日 社会学部創設50周年記念式典・祝賀会当日のスケジュール]

13：00～ 記念式典 会場：第3学舎ソシオ AV 大ホール

[第1部]

オープニング・スライドショー BGM：50年前の学歌レコードを再生

開式の辞／第1部司会 森田雅也 社会学部副学部長

挨拶 永井良和 社会学部学部長

物故者に黙禱 参加者全員

祝辞 芝井敬司 関西大学学長

祝辞 池内啓三 学校法人関西大学理事長

祝辞 張濟国 韓国 東西大学校総長・関西大学客員教授

祝辞 中尾優司 社会学部同窓会会長

寄贈品贈呈 社会学部同窓会より社会学部へ（展示用クロスパネル2台）

来賓紹介 竹内謙彰 立命館大学産業社会学部学部長

祝電披露 大西正曹名誉教授ほかより

学長表彰 対象者：和田伸也 社会学部卒業生・社会学研究科修了生、陸上・マラソン選手

受賞の言葉：和田伸也

記念写真撮影

[第2部]

第2部司会 村田麻里子 社会学部副学部長

記録映像上映 広報課保存の学舎竣工時の記録映画を上映

講演 「関西大学社会学部の50年」 片桐新自 社会学部教授・『関西大学社会学部50年史』編集委員会委員長

手締め（大阪締め） 参加者全員

閉会 の 辞 村田麻里子 社会学部副学部長

式典の出席者：148名

16：00～ 祝賀会 会場：凜風館「ディノア」

開宴 の 辞／司会 加納恵子 社会学部教授

挨拶 横山豊 社会学部1期生・社会学部同窓会名誉会長

乾杯 東村高良 社会学部1期生・社会学部教授

（歓談）

ビデオ上映 「30年前の関大前ストリート」

お話 岩見和彦 社会学部名誉教授

ゲスト 木村清子 卒業生・岩見ゼミ出身・「ケープコッド」経営

（スピーチ）

舟場拓司 社会学部教授・前学部長

石川啓 社会学部名誉教授・元学長

山口志郎 卒業生・関西大学マスコミ人会副会長

北村美香 卒業生・橋本理ゼミ出身・助産師

北村将史 卒業生・片桐ゼミ出身

挨拶 永井良和 社会学部長

終宴 の 辞 加納恵子 社会学部教授

祝賀会の出席者：140名

企画・実行 社会学部執行部・第3学舎オフィス

協力 関西大学社会学部同窓会・関西大学マスコミ人会・関西大学広報課・関西大学
学年史編纂室・関大パンセ・遊文舎・関西大学生生活協同組合

写真記録：溝口佑爾社会学部助教・関西大学広報課・関西大学学年史編纂室

動画記録：社会学部メディア専攻実習受講生

〔記念式典における社会学部長「挨拶」(全文)〕

社会学部長の永井でございます。

私からの挨拶に先立ち、社会学部創設に尽力されたみなさん、また、本学部卒業生はじ

め教職員、関係者のみなさんのうち、すでに亡くなられた方々に感謝と哀悼の意を表し、黙禱をいたしたいと存じます。ご参加のみなさん、おそれいりますが、その場でご起立ねがいます。(一同起立)では、社会学部の発展に貢献された物故者のみなさまに、黙禱をささげます。黙禱。(一同黙禱)ありがとうございました。ご着席ください。

さて、あらためまして本日は、関西大学社会学部創設50周年記念式典によるこそおこしくございました。あいにくの雨にもかかわらず、多数ご来場いただき、感謝いたします。

社会学部は1967年に創設され、今年、めでたく50周年を迎えることができました。関西大学としても昨年在創立130周年にあたり、さまざまな行事が挙行されました。大学の年齢からいえば、社会学部はまだ若い部類です。しかし、社会学部の創立後に新たな学部も加わり、いまでは社会学部も中年にあたる年齢になったといえましょう。

50年という歳月は、人の生涯にくらべたとき、若い人からみれば長く、ご高齢の方からみれば短いものかもしれません。しかし、あと数十年が経てば、人の人生より長いものになります。そうなったときに、創立のころの精神や理念を思い出すことは、困難になります。そこで、今回の50周年記念式典では、創立のころを知る世代から、いまの学部にかかわる世代までが一堂に会し、過去の経緯をあとづけ、そこから知り、学ぶべきことを次の世代に伝え、手渡すことを最大の目標にいたしました。

みなさまをお迎えするにあたり、私の役目は、この集りの趣旨を申し上げ、至らぬであろう点についてあらかじめお詫びすることかと思えます。

50周年という節目を機に、対外的に派手な宣伝をすることも考えました。しかし、大学の130周年事業でさえ質素を重んじて実行されたことを考えると、きょうの一日で消えてしまうようなことに貴重な予算を費やすことは控えねばならないと考えました。また、対外的な宣伝は、どのていどの効果が見込めるかの算段に不安定なところもございます。そこで、いったん過去を現在に引き継ぐ作業をおこない、先輩たちから承ったお話を、若い世代が次の時代に生かすことこそが、いっそう重要な伝達だろう、そうであるなら、きょうの式典でなすべきことは、関係者が同じ学部に関わる者として対話の場につくことだと思っただけです。

きょう一日、社会学部に関わったみなさんが、肩書などをいったんおいて、ひとりの人として向き合い、話しあっていただければと思います。ですので、きょうは学外からのお客様を除き、来賓という言葉は用いません。同じ大学、学部に関わる者として、対等にお話しいただき、意見を交わしていただければと願います。

私が、この学部に着任したのは、いまから24年前です。そのときに感じ取ったこと

の第一は、教員が対等の立場で意見を言い合える心地よさでした。それは、その後、学生とのあいだにも、職員さんたちとのあいだにも、つくりあげていくことのできる関係だと感じ、じじつ、そのような集まりとして、この社会学部のいまはあると思います。

50年という歳月が流れ、社会学部に関わった方々は、きょうお集まりのみなさんの数を大きく上回る、大きな数になります。したがって、おひとりおひとりのお名前をあげてお礼の言葉を申し上げることも現実的ではございません。ご来場いただいた諸先輩には礼を失するかたちになりますが、その点、寛容なお心でお許しいただければ幸いに存じます。

要は、派手な行事でお金を使わない、格式ばった式典で儀礼的に終わらせることにはしない、ということです。舞台には花も飾らず、出席者の胸にリボンもございませんが、ご海容ください。

けれども、一点だけ力とお金をつかったことがございます。創立記念事業の核に据えたのは、ここにあります『社会学部50年史』の編集刊行でした。編集委員のみなさんや、編集にご協力いただいたみなさんがたのおかげをもちまして、先日、無事に刊行の運びとなりました。内容については、この式典の第2部で詳しく触れていただきますので、この場では、私からの簡単な紹介にとどめます。

このほか、記念事業としては、年史編纂室での企画展の実施、第3学舎ギャラリーゾーンの運用開始、シンポジウムや講演会の開催など、本年度1年間にわたり、学舎の内外で展開しております。今後も、講演会などが予定されておりますので、ひきつづき記念事業へのご参加をおねがいたします。

最後になりますが、感謝の言葉を申し上げて、むすびといたします。

学校法人には、創立50周年を控え、学舎全体のリノベーション工事を実施していただきました。村野藤吾事務所設計のA棟をふくむ、建物全体が、防災の点でも、バリアフリー化の点でも、改善され面目を一新しました。このようなかたちで大学としての機能を維持しながら、貴重な建築物を保存できたことは、私たちの誇りです。今回の工事で、当分のあいだ、この懐かしい学舎から卒業生を送り出すことができるようになりました。いつの日か、第3学舎の正面玄関に、登録有形文化財の銘板が備え付けられることを、私は夢見しております。法人のみなさま、ありがとうございました。

大学・学部の主役であり、また担い手である学生・卒業生のみなさん、退職された、あるいは現職の教職員のみなさんにも感謝申し上げます。本日は、社会学部同窓会のみなさん、関西大学マスコミ人会のみなさんにも多数お集まりいただきました。きょう一日が、みなさんにとって思い出深いものとなり、社会学部にかかわるひとりとして充実した気も

ちをもって帰路につかれることこそ、私のねがうところです。

お詫びとお礼が長くなりました。これにて、学部長からのごあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

2017年10月28日

〔『学校法人関西大学2017年度事業報告書』における記録〕

14ページ (7)記念事業の実施

●社会学部創設50周年記念事業の実施

2017年4月に学部創設50周年を迎え、50年の歴史の集大成として『関西大学 社会学部50年史』を発行しました。記念事業として、多数の学術講演会、シンポジウムを開催するとともに、2017年10月28日には大学関係者、学外関係者並びに社会学部OB・OGを招いて記念式典を挙行し、盛会裏に終了しました。

〔関連資料〕

『関西大学社会学部50年史』 関西大学社会学部 2017年9月

片桐新自「『関西大学社会学部50年史』を編む」／永井良和「関西大学社会学部創設五十周年記念事業と企画展示について」／村田麻里子「大学博物館を大学教育に活用する」／劉雪雁「学生目線で伝える社会学部五十周年企画展」／年史編纂室「2017年度年史資料展示室企画展「人と社会をみつめて——関西大学社会学部50年のあゆみ——」の記録」 いずれも関西大学年史編纂委員会編『関西大学年史紀要』第25号(2018年3月)に所収

「社会学部創設50周年記念」『關大』 関西大学校友会 601号(2017年9月15日)

—2018.7.2受稿—